21人の議員が一般質問を行いました。その中から一部の質問・答弁の要旨をお知らせします。 議員名の横のコードの読み込みで、インターネットで一般質問の様子を閲覧できます。 ※閲覧には、通信料が発生します。

浸水対策

柞山 数男(自由民主党)





排水ポンプ車と同様の機能を持った 固定式排水設備の常設はできないか。



浸水対策には国・県との連携が最も 重要だと考えている。



国は大型設備、市は中・小設備を整備するという役割分 担のなか、平成16年の水害を受けて、市としては積極 的に排水ポンプ車の整備をしてきた。

排水機場を作るとまではいかなくても、次善の方法が もしあるとすれば、県を中心に進めていくことになるの で、提案があれば、その協議の場に出ていきたい。

(市長)

【質問項日】

- ▼富山市スマートシティ ▼富山駅周辺整備
- ▼園児等の移動経路における交通安全の確保 ▼浸水対策 ▼市道の管理

歩いて暮らせるまちづくり





健康やにぎわい創出にもプラスとな る「歩く」ことをさらに展開する上 で、ベンチの設置を推進してはどうか。



市民に、歩くライフスタイルへの転 換を促すには、歩きたくなるようなきれいで美し い魅力的な街並みの創造と、安心・安全で快適な歩行環 境の整備が重要である。そのため、フラワーハンギング バスケット事業などさまざまな施策に取り組んできた。 今後は、地域や企業などと連携しながら、市有地や民有 地などにおいてベンチを設置することについても検討し (活力都市創造部長) ていきたい。

【質問項目】

- ▼防災対策 ▼子どもを取り巻く環境
- ▼歩いて暮らせるまちづくり ▼A I を活用した行政サービス



防災・減災・市民の安全対策

松井 桂将 (公明党)



小学校通学路沿いのブロック塀の実 態調査結果と、これを受けての安全 対策の取り組みは。

昨年行った緊急点検の結果、危険が あると判断された箇所のうち、既に撤去・改修さ れたものを除く197カ所の塀について、今年行った現 地での実態調査では、劣化のため撤去または耐震改修が 必要と判断されたものが、全体の62%、122カ所等 となった。これら安全性に問題があると判断されたブロ ック塀の管理者や所有者に対しては、個別に改修や撤去 による改善指導等を行っていく。 (活力都市創造部長)

【質問項日】

▼防災・減災・市民の安全対策 ▼「幸齢社会」

市内電車の上滝線乗り入れ

竹田 勝(自由民主党)



電圧の相違、ホーム高さの相違など 7項目の技術的課題に関する進捗状

況は。

問

この技術的課題のうち、これまでに 車両幅員の違いやホーム高さの違い、ならびに降 車時の運用方法の3項目については、解消の見込みが 立っている。しかし、電圧の相違や積雪時の走行環境の 確保など、残りの課題については、解消のめどが立って いないことから、今後引き続き、交通事業者や車両メー カーなどと協議を行いながら検討を進めていきたい。

(活力都市創造部長)

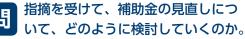
【質問項日】

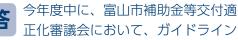
- ▼小中教員の臨任講師不足と教員の多忙化解消
- ▼本市の農業担い手不足 ▼市内電車の上滝線乗り入れ

本市包括外部監査人による補助金の是正等の指摘

押田 大祐(自由民主党)









を策定し、まずは、監査対象となった72の各種補助金 の見直し目標を定める。その上で、早期に見直しが可能 なものについては、事前に交付先である関係団体と十分 な協議を行い、来年度予算に反映したいと考えている。 また、今回対象とならなかった各種補助金も含め、継続 的に見直しが行われるよう、PDCAサイクル(*)を構築 し、適正化に努めていきたい。 (介画管理部長)

▼富山市包括外部監査人が、市の補助金や負担金、交付金について、 是正や改善が必要とした指摘の件 ▼小学校のプール整備と安全確保

※PDCAサイクル・・・Plan (計画) →Do (実行) →Check (評価) →Act (改善) の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する手法。

消防局

村石 篤(社会民主党議員会)





心肺停止事例で、本人が心肺蘇生を 望まない場合の本市救急隊の対応は。



消防法では、緊急に医療機関等へ搬 送する必要がある傷病者を、救急隊

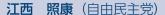


が応急手当を行いながら搬送すると定められているが、 傷病者の家族等から心肺蘇生を望まないと伝えられ、対 応に苦慮する事案があった。本市では、家族等に法律に よって定められている救急隊の責務を説明し、必ず同意 を得た上で、心肺蘇生を行いながら医療機関に搬送して いる。今後、国から統一された指針などが示された場 合、それに基づいて対応していきたい。

【質問項日】

- ▼呉羽丘陵の連絡橋整備 ▼学校教育 ▼幼児教育・保育の無償化
- ▼消防局 ▼「会計年度任用職員制度の準備状況等に関する調査」
- ▼定数外職員取扱要領

大震災時の避難対策





最新の津波ハザードマップで、ほと んどの小中学校に津波は到達しない と判明したにもかかわらず、東日本大震災 以降、多くの小中学校で津波避難訓練を継 続するのはなぜか。

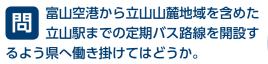


津波を想定した避難訓練は、児童生徒が、将来、 大災害に遭遇することがあり得ることから、防災 意識を高め、万が一の際、適切に避難行動をとることが できるようにする上で意義のあることだと考えているが、 それを全ての学校に奨励することまでは考えていない。 (教育委員会事務局長)

【質問項日】

- ▼四方チャレンジ・ミニ企業団地 ▼大震災時の避難対策
- ▼超高齢社会の交通政策

中山間地域における諸問題と活性化策 泉英之(自由民主党)





県では富山空港の利用促進を図るた め、空港を起点とした広域周遊観光ルートの形成 や二次交通の活性化に取り組んでいる。こうした中、富 山空港から立山山麓地域を経由した立山駅までの定期バ ス路線の開設については、観光客の利便性向上や、空港 の利用促進のほか、立山山麓の活性化にもつながること から、今後、空港管理者である県へ働き掛けていきたい と考えている。 (商工労働部長)

【質問項日】

▼中山間地域における諸問題と活性化策

中山間地域における農作物の鳥獣被害

尾上 一彦 (会派 誠政)



電動エアガンの導入状況および補助 金の活用状況は。ニホンザルには地 域ぐるみでの対策が必要と考えるがどうか。



地域ぐるみでニホンザルの追い払い 活動をする団体等に、電動エアガン等の追い払い 機材の購入費用を助成する事業については、昨年度に市 内の19集落と1自治振興会が取り組んでおり、76丁 の電動エアガンが導入された。餌となるものを放置しな いことと同時に、サルが人家に近づいたら電動エアガン を撃つということを集落単位で続けることが、被害防止 につながると考える。 (市長、農林水産部長)

【質問項日】

- ▼中山間地域における農作物の鳥獣被害 ▼認知症高齢者の見守り
- ▼高齢ドライバーの事故防止対策 ▼富山市民病院



雷動エアガン





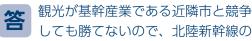
土壌で分解される環境に優しいバイオBB弾 サル追い払い対策研修会における電動エアガンの試射

訪日外国人観光客(シティプロモーション)

金谷幸則(自由民主党)



今後のシティプロモーションについ て、どう考えているか。





開業前から富山市なりの方法で行ってきた。本市の強み を伸ばし、外部の人に評価される良い仕事をしっかりと 行い、次の機会を得ることが大事なので、着実にやるべ きことをやっていくことに尽きると思う。総合力が高く 花や音楽にあふれる、きれいでおしゃれなまちづくりへ の取り組みに一層の磨きをかけていくことこそが、シテ ィプロモーションにつながると考えている。 (市長)

- ▼幼児教育・保育の無償化の実施 ▼桐朋学園
- ▼放課後児童健全育成事業 ▼訪日外国人観光客

社会インフラ (**) のマネジメント

松井 邦人(自由民主党)





未来へ向けての社会インフラマネジ メントについて見解は。



持続可能な都市経営のため、マネジ メント推進にあたり、新設整備は、



真に必要なものに限定し、既存インフラは、適正な維持 管理や長寿命化などの対策に引き続き取り組んでいく。 同時に、高度な技術力や豊富な経験を有する職員を育 成・確保し、組織体制の充実を図り、民間等のノウハウ や新技術の活用、さらには、市民との協働を図るなど、 あらゆる施策を総動員し、この喫緊かつ長期的な課題に 対応していくことを考えている。 (建設部長)

【質問項日】

▼自転車の安全施策の充実 ▼社会インフラのマネジメント

※社会インフラ・・・道路や橋りょう、公園などの市民の生活や経済活動を支える 基盤となる施設



太平橋(牛島新町外地内)の補修工事の様子

教職員の不足問題、過重労働

直樹 (日本共産党)



本市の部活動指導員に関する今年度 の予算は昨年同様、4校5人分と聞 いている。年度の途中からでも増員し、教 員の過重勤務の軽減を図ることが必要だと 考えるが、見解は。



部活動指導員については、配置した学校からの要 望を踏まえ、今年度は土曜日・日曜日・祝日にお ける活動も可能とするなど、指導体制の弾力化を図った ところである。その効果を見極めた上で、来年度以降の 配置について検討していくこととしており、年度途中で の増員は考えていない。 (教育委員会事務局長)

【質問項目】

- ▼加齢性難聴者の補聴器購入の補助制度
- ▼教職員の不足問題、過重労働 ▼公共交通の充実

今後の公共施設マネジメントアクションプラン 久保 大憲(自由民主党)



教育委員会と企画管理部との情報共 有を一層強化し、見直し等を行うも のは、次期プランに反映させるべきでは。



公共施設の再編を部局横断的に進め

るため、各部局の次長で構成する公共施設マネジ メント戦略チームにおいて、今年度からは、施設の複合 化に向けた各部局間の調整や、学校等の施設整備計画に ついての構想段階からの情報共有を踏まえ、議論の場と しての機能強化を図っている。今後ともチーム内で共有 された情報や議論した成果等を、次期プランの実行編に 適切に反映させていきたい。 (介画管理部長)

【質問項日】

- ▼富山市公共施設等総合管理計画 ▼スポーツ振興と学校部活動の在り方
- ▼住居表示

教員の多忙化解消に向けた今後の取り組み





中央教育審議会答申で発表された、 髙 「基本的には学校以外が担うべき業 務」には、知恵を絞れば今すぐに業務削減 できるものがあると考えるが見解は。



教員の働き方改革を実現し、心身ともに健康で、 子どもと元気に向き合える環境を整備するために は、人員増以外に根本的な解決策はない。学校が今まで 担っていた業務を他へ渡すとなると、保護者や地域等へ の新たな負担を掛けることになるため、今すぐはなかな か難しいが、時間をかけて協議を行い、ご理解をいただ きながら進めていきたい。 (教育長)

【質問項日】

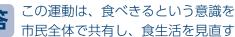
- ▼富山市まちの環境美化条例
- ▼教員の多忙化解消に向けた今後の取り組み

たベキリン

金井 毅俊 (日本維新の会)



「おいしいとやま食べきり運動」の 協力店の登録状況は。





(市民生活部長)

ことにより消費生活の改善を図ることを目的として、他 の自治体に先駆けて実施している。協力店については、 本格実施した平成22年度は725店であったが、店舗 廃業等により減少し、本年5月末現在では508店と なっている。今後も、趣旨に賛同してもらい、この運動 に協力してもらえるよう、飲食店や旅館業の皆さまにお

【質問項日】

願いしていきたい。

▼放課後児童健全育成事業 ▼たベキリン ▼富山南警察署の移転

教育を取り巻く問題

大島 満 (フォーラム38)



教員を目指す人を増やすため、何を すべきか、教育長の見解は。



教員がやりがいを感じられる職場づ くりのために、研修の充実や業務改



善を推進していく。やりがいを持って輝く教員の姿を、 子どもたちや保護者、地域の皆さんが間近で見て、教員 の仕事の素晴らしさを肌で感じ取ってくれるものと思う。 そんな教員や子どもたちのいる学校づくりが、将来、教 員を目指す人を増やすことにつながると考える。社会全 体で学校を応援する機運を、より一層高めていくことが 大事である。 (教育長)

【質問項目】

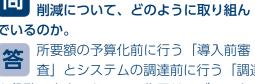
▼廃棄物と環境問題 ▼教育を取り巻く問題 ▼大島橋の設計瑕疵

富山市の情報化の取り組み





システムの導入費や保守費のコスト 問 でいるのか。



査」とシステムの調達前に行う「調達前審査」の 2段階の審査において、住民サービスの向上や事務改善、 さらには費用対効果などの観点から総合的な審査をする ことにより、導入費や保守費の削減に取り組んでいる。 平成22年度から民間の1丁企業出身の技術者を情報企 画監として採用してきたこと等により、審査で多額の削 減実績を積み重ねることができている。(企画管理部長)

【質問項目】

▼富山市の工業振興 ▼富山市の情報化の取り組み

ひきこもり対策推進事業

村上 和久(自民クラブ)



本年度の「ひきこもりサポート事 問 業」で予定している取り組みは。





いよう、ひきこもりの長期化防止を目指す「ひきこもり 予防ネットワーク会議 | の設置を、また、おおむね20 歳以上の対象者等には、地域でのネットワークの強化を 目指す「ひきこもり丸ごとサポートネットワーク会議」 を設置する予定である。ひきこもりは直ちに解決策が見 いだせない難問であるため、社会全体で考えていかなけ ればならないと認識している。 (福祉保健部長)

【質問項日】

▼消防 ▼自転車に関する条例制定と活用推進

▼ひきこもり対策推進事業

わがまちサロン事業

松尾 茂 (公明党)



メンタルヘルスサポーターを増員し、 それぞれの地域で活躍してもらう環 境整備が必要と考えるが見解は。

このサポーターは、本市が依頼して いるボランティアだが、認知度は低く、現在、約 6割の自治振興会の区域での配置にとどまっている。活 躍してもらうためには、その存在や活動を理解してもら い、活動しやすい環境を整えることが重要であり、今後、 サポーターが孤立しないよう、行政のフォローアップや 富山市メンタルヘルスサポーター連絡会の役割強化など 支援体制の整備等に努めていきたい。 (福祉保健部長)

【質問項日】

- ▼食品ロス削減 ▼ユニバーサルデザインのまちづくり
- ▼わがまちサロン事業

本市の小中学校の状況

東篤(社会民主党議員会)



教員の多忙化解消のため、給食費の 集金、会計、督促、返金等の事務を 教育委員会で対応することはできないか。



本市が学校給食費の会計業務を行う 場合、約3万4千人の給食費を徴収することとな り、生活保護や就学援助、転出入の把握や長期欠席、ア レルギー対応による返金等、きめ細かな対応が引き続き 求められるため、様々な制度設計やシステムの導入とと もに、人員や予算の確保が必要となる。文部科学省では ガイドラインを策定予定で、その動向や他都市の事例等 も調査しながら議論していきたい。(教育委員会事務局長)

【質問項目】

▼本市の小中学校の状況 ▼富山市のごみ・資源物収集

富山大空襲

赤星ゆかり(日本共産党)



富山大空襲の資料、体験談の収集を どのように行い、その資料をどのよ うに活用し、広く伝えていくのか。

本市では、戦後70年以上が経過し、 大空襲の記録と記憶の風化の懸念があることから、 資料の収集を行うこととした。収集については、広報と やま6月20日号での募集案内や、マスコミ等で、広く 呼び掛けていく。資料は、「富山市民感謝と誓いのつどい」 の会場で展示を行う。今後はデジタルアーカイブ化し、 体験談と一緒に本市ホームページに掲載し、戦争の悲惨 さと平和の大切さを伝えていきたい。(市民生活部長)

【質問項日】

▼子ども食堂への助成 ▼富山大空襲 ▼市街地再開発事業とまちづくり